

特別会計の状況

特別会計名	収入額	支出額
国民健康保険	116億2,708万3千円	113億2,538万5千円
後期高齢者医療	10億5,434万円	10億5,176万円
介護保険	67億8,868万2千円	67億2,041万3千円
介護サービス	3,631万8千円	2,267万1千円
公園墓地	4,046万2千円	799万4千円
公共用地先行取得	9,893万5千円	9,891万4千円
合 計	196億4,582万円	192億2,713万7千円

財産の状況

財産の種類	平成27年度末現在高
土 地	1,283,033㎡
建 物	294,871㎡
基金(14種類合計)	51億8,732万7千円

◆おもな基金の種類・現在高

- ・財政調整基金…………… 23億1,221万7千円
- ・減債基金…………… 10億3,597万7千円
- ・福祉基金…………… 5億6,592万2千円

市債(借入金)の残高

◆平成27年度末現在の残高

会 計	平成27年度末現在高
一般会計	388億8,237万2千円
特別会計	2億1,409万1千円
合 計	390億9,646万3千円

◆市債残高の推移

年度	一般会計	特別会計	公営企業会計
平成23年度末	382億円	1億円	212億円
平成24年度末	370億円	4億円	206億円
平成25年度末	410億円	3億円	198億円
平成26年度末	401億円	2億円	192億円
平成27年度末	389億円	2億円	182億円

市の財政健全化判断比率と資金不足比率

◆健全化判断比率 地方公共団体等の財政の状況を、数値でわかりやすく把握するために算出する指標です。数値が「早期健全化基準」を越えると、財政健全化への努力がより厳しく求められることになります。

▶大和郡山市の平成27年度決算にもとづく各指標は、すべての数値が「早期健全化基準」をクリアしています。

※「△」=マイナスを表します		大和郡山市 平成27年度	(参考) 早期 健全化基準
実質赤字比率	一般会計等の赤字の比率	黒字のため 数値なし (昨年と変わらず)	12.57%
連結実質赤字比率	一般会計と特別会計・企業会計全ての会計の赤字の比率		17.57%
実質公債費比率	市債(借金)の単年度返済額の負担の重さを表す指標	11.6% (前年度比+0.7%)	25.0%
将来負担比率	市債の残高や公社・第3セクターの債務など、負担しなければならぬ負債の大きさを表す指標	71.5% (前年度比△19.2%)	350.0%

◆資金不足比率 健全化判断比率と同様、公営企業の赤字の状況を表す指標。本市では、「水道事業会計」と「下水道事業会計」の2事業が対象。

▶2事業とも、平成27年度決算額では資金不足額がないため、「経営健全化基準」をクリアしています。



平成27年度 こんなところにお金を使いました。

安全・快適な暮らし

道路維持補修事業	1億4,289万2千円
交通安全施設整備事業	4,110万6千円
流域貯留浸透事業	2,403万5千円
橋梁維持補修事業	4,611万円
公営住宅建設事業	1億8,233万5千円

子育て・教育

郡山東保育園施設整備事業	2億5,370万3千円
臨時福祉給付金給付事業	1億328万円
子育て世帯臨時特例給付金給付事業	3,700万4千円
妊婦健康診査事業	5,032万円
(仮称)矢田認定こども園建設事業	1,207万3千円
幼稚園耐震補強改修事業	3,560万8千円
小学校給食センター「あすなろ」 管理運営事業	1億8,610万8千円

協働のまち

第4次総合計画策定事業	694万4千円
コミュニティバス運行事業	3,355万3千円
転入・定住・家族の絆応援補助成事業	2,780万円
マイナンバーカード事業	3,227万5千円

健康・福祉・生きがいづくり

高齢運転者免許自主返納推進事業	199万9千円
スポーツ会館改修事業	1,153万9千円
郡山城天守台展望施設整備事業	8,718万1千円
市道三の丸線交通広場改良事業	2,210万5千円
中央公民館耐震改修事業	1億9,711万8千円

産業・環境

清掃センター長寿命化事業	14億9,634万9千円
衛生センター長寿命化事業	775万4千円
家庭用燃料電池設置補助事業	210万円
食と農をつなぐプロジェクト事業	438万円